

04_00_作品展

1. 開催会場の確保

- ・開催会場は基本的に「富士フォトギャラリー銀座」としている。
(展示終了後に次年度予約受付の時期を確認し、遺漏なく申請する。)
- ・会場スペースにもよるが、一人2点の展示を基本としている。
- ・第10回作品展(2023年)はクラブ設立10周年記念としてキャノンオープンギャラリー2(キャノンスター)において開催した。(キャノンの規定により連続開催は不可)

2. 作品展への参加者

- ・クラブ会員は、健康上の都合がある場合を除き全員参加を基本とする。

3. 作品の選定

- ・年間の集大成といった作品展であることから、この1年間の講評会における評点「大大大」作品の中から展示したい作品を講評会で提示し、その中から1~2点を展示作品として選定する。
- ・メンバーそれぞれの個性を重視することから、テーマ・ジャンル等、展示基準は特に設定していない。

4. 開催費用

- ・ギャラリーサイド、業者と打合せの上費用の見積もり総額を算出し、参加者が均等に負担する。
- ・但し、健康上の都合等でやむを得なく不参加となる場合は、プリント・額装費用(レンタル料・キャプション・梱包料を含む)については免除とし、その他共通費(会場賃借料・DMはがき・講師作品製作費・フォトブック等)についてはクラブ会員全員の均等負担とする。
- ・会期終了時の作品返送については、梱包料・宅配便費用は参加者個人負担とする。(宅配便は着払い)

	<個人負担>	<共通費>
参加者	プリント、額装、額レンタル、キャプション、返送費(梱包・着払い)、搬入・搬出費、その他展示に係る諸費用	会場費・DMはがき・講師作品製作費・フォトブック・雑費
不参加者		
クラブ経費		講師指導料・講師作品返送費・会場当番交通費

- ・その他支出が発生した場合は、上記基準に照らし合わせて判断する。

5. 講師指導料

- ・講師は、会場決定、製作・展示業者の決定、作品選定、プリントチェック、展示順等、作品展全般に関して指導をおこない、それに対してクラブは指導料50,000円を支払う。
- ・また、講師展示作品に係る運送費等については、クラブ経費として会員の年会費から支出する。

6. 開催に向けたスケジュール(イメージ)

- ・開催時期の半年前には企画を立案し、作品選定・キャプション作成・あいさつ文・プリント・額装・DMはがき作成等、展示に向けた準備期間を充分確保する。

(第10回作品展2023の事例)

- 2月 会員へ企画の提案
- 5月・6月 講評会にて作品提示・選定
- 7月 費用確定、プリント・キャプション決定、DMはがき配布
- 8月 展示開始

7. 報告、等

- ・キャノン事務局に対し、以下の報告がある。
- 1) 作品展企画書(開催日の3月前まで)
- 2) 作品展結果報告書(終了後1週間以内)
- ・作品展協賛金請求書(終了後1週間以内、キャノンギャラリー以外で開催の場合)